







横垂直 横水平 かき これは、意味のないサンプルテキスト

縦水平

トです。 おおおこれは、意味のないサンプルテキストです。

横垂直 ああああああああ

ああああああああ かき これは、意味のないサン

あああああああああ

縦垂直

あああああああああ

プルテキストです。 あああこれは、意味のないサンプルテキストです。 おおおこれは、意味のないサンプルテキスト

下水平

トです。 これは、意味のないサンプルテキストです。

縦垂直

あああああああああ

あああああああああ



横水平

下垂直 かき これは、意味のないサンプルテキストで  
す。 おおこれは、意味のないサンプルテキストです。

横垂直

ああああああああ

ああああああああ

かき これは、意味のないサンプルテキストです

横垂直

ああああああああ

ああああああああ

ああこれは、意味のないサンプルテキストです、下水平、おお

縦垂直

ああああああああ

ああこれは、意味のないサンプルテキストです

これは、意味のないサンプルテキストです。

LaTeX の特徴として、テキストファイルであるソースコードを入力として処理することで DVI や PDF などの表示形式出力として得ることが挙げられる。

LaTeX の最大の長所は、TeX に由来する高品質で自由度の高い組版処理能力である。組版処理能力は一般向けの出版物の作成にも十分に耐えられるものであり、実際の出版例もある。中でも数式組版の品質が高い。さらに、数式専用の命令文 (コマンド) が用意されているので、単純なソースコードで高品質な数式表示を得られる。そのため、数式を多く含む自然科学系や工学系の出版物などでは、LaTeX 形式での投稿が標準的なフォーマットとされていることも多い。

くわえて、ソースコードに詳細な設定を記述することで、文書のスタイル (表示形式、見栄え、たとえばレイアウトやフォントなど) を自在に調節できる。また、ソースコード上で文書内容・文書構造 (章・節・段落や強調箇所など) と文書スタイルの設定との分離が可能である。そのため、同一文書内で終始一貫したスタイルを保つことができる。また、同じ文書内容でレイアウトやフォントだけを変えることができるなど、文書内容、データの再利用性が高い。一度スタイル設定を決めてしまえば、あとは文書内容の記述に専念することができるという利点もある。論文などの投稿では、学術雑誌のスタイルを記述したファイル (パッケージファイル) を Web からダウンロードして利用することで、統一されたスタイルで論文を投稿することができ、論文の投稿者と雑誌の編集者とのやり取りを簡略化できる。Kile、TeXShop、TeXworks、EasyTeX、WinShell などの TeX 用エディタや、野鳥 (やぶ) YaTeX、TeXlipse、KaTeX (花鳥、かつお)、祝鳥 (のり) Mrs TeX Helper 2 などの TeX 用テキストエディタマクロを兼用することによって、より効率的な文章作成が可能となる。また Maple や Mathematica などドキュメントを作成し、TeX 形式で出力することも可能である。

縦ボックス	寸法	WD: 8.77776pt, HT: 16.94449pt, DP: 0.0pt	WD: 100.0pt, HT: 16.94449pt, DP: 0.0pt	WD: 8.77776pt, HT: 10.0pt, DP: 50.0pt
横ボックス	寸法	WD: 16.94449pt, HT: 6.83331pt, DP: 1.94444pt	WD: 100.0pt, HT: 6.83331pt, DP: 1.94444pt	

dimexpr でも使えるかな? 201.0pt

---

A あいうえお  
B ABC  
横水平 CXYZ

Aabc  
B かきくけこ  
Cxyz

---

横水平

縦  
水  
平  
丙 乙 甲  
X ABC  
Y XYZ  
Z あいうえお

丙 乙 甲  
X abc  
Y かきくけこ  
Z



横垂直

A あいうえおBABC      CXYZ

Aabc      B かきくけこCxyz |

---

甲      甲      縦  
abc      あいうえお      垂  
      かがきくけこ      直  
      ABC      |  
      XYZ

```
A> 0 hlist 2 (3.41666+42.0)x29.4445, dir=0
A> .0 whatsit 44 userid:4 (direction) (node list)
A> .D hlist 2 (3.41666+42.0)x29.4445, dir=3
A> ..0 whatsit 44 userid:4 (direction) (node list)
A> ...D hlist 0 (29.4445+100.0)x3.41666, dir=-4
A> ..D glyph 256 A 1 (6.83331+0.0)x7.50002
A> ..D glyph 256 B 1 (6.83331+0.0)x7.08336
A> ..D glyph 256 C 1 (6.83331+0.0)x7.22223
A> ..D glyph 256 D 1 (6.83331+0.0)x7.6389
B> D hlist 2 (3.41666+42.0)x29.4445, dir=3
B> .0 whatsit 44 userid:4 (direction) (node list)
B> ..D hlist 0 (29.4445+100.0)x3.41666, dir=-4
B> .D glyph 256 A 1 (6.83331+0.0)x7.50002
B> .D glyph 256 B 1 (6.83331+0.0)x7.08336
B> .D glyph 256 C 1 (6.83331+0.0)x7.22223
B> .D glyph 256 D 1 (6.83331+0.0)x7.6389
```

100.0p<sup>42.0</sup>